

6年
社会
戦争と人々の暮らし

本時の主張

「私は15歳、特別年少兵」（筒井さんのお話）から、戦争が国民生活に与えた影響に気づき、戦争に対する思いをもつ。




筒井 肇さん

1 本時の目標

- ・「私は15歳、特別年少兵」筒井さんのお話をもとに、戦時中の小学生の生活を通して、戦争が国民生活に与えていた影響に気づき、自分なりの平和に対する思いをもつ。（思考・判断・表現）

2 本時の展開（1時間扱い）

子どもの意識と活動	教師のかかわり
<p>○絵をもとに、戦時中、小中学生がどんな暮らしをしていたのかを予想する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 10px;">本当に小学生なの？</div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-left: 10px;">働いているみたいだ。</div> </div> <p>○筒井さんのお話を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 「札幌市民の戦争体験 平和に関する学習資料②」 p 54 「私は15歳、特別年少兵」筒井さんのお話を読む。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> どうして筒井さんたちは、高等科を卒業したら 兵隊か軍需工場に行かなくてはならなかったの？ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 軍国主義 ・「みんな覚悟を決めていた」～戦争に行くことが当たり前。 ・「八重桜のマーク」～兵隊になることが誇り </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 戦況の悪化 ・戦争の状況が悪化～中学生も戦争に行く。 ・特別年少兵～15歳でも兵隊になる </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> お国のため </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 戦争が長く続き、「お国のため」として、国民みんなが戦争に参加する体制になっていた。 </div> <p>○筒井さんの戦争に対する思いを資料から読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争は悲惨なもの ・戦争をしてはならない <p>○この学習を通して、平和についてどう思ったのかをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争が起きないようにしないといけない。 ・平和についてもっと考えていかないといけない。 	<p>○「軍需工場」で働く様子の挿絵を提示し、絵をもとに戦時中の小中学生の暮らしを考えるようにする。</p> <p>○教師が、「札幌市民の戦争体験 平和に関する学習資料②」 p 54 「私は15歳、特別年少兵」筒井さんのお話を読む。</p> <p>○筒井さんのお話をもとに、戦争当時の暮らしを焦点化し、課題を提示する。</p> <p>○筒井さんの話をもとに、当時の状況を考えるようにする。</p> <p>○「軍国主義」と「戦況の悪化」という2つの視点から、子ども達の考えをまとめる。</p> <p>○「お国のため」という戦時体制に気付くようにする。</p> <p>○筒井さんの話をもとに、筒井さんの戦争に対する思いを資料から読み取る。</p> <p>○この学習を通して、平和についてどのような思いをもったのかをノートに記入し、発表する。</p>